

事務局

〒289-1732 千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6

TEL 0479-80-1177 FAX 0479-80-1178

第2790地区ガバナー 寺嶋哲生 第6分区ガバナー補佐 志田延子

昭和41年10月6日創立 / 昭和41年11月21日承認

例会日時 毎週木曜 12:30点鐘

(夜間例会 18:30点鐘)

例会場 横芝光町文化会館

URL <http://www.narita-airport-m-rc.jp>

E-mail info@narita-airport-m-rc.jp

平成29年11月2日発行 NO.2200 第2353例会 会長 前川 成吉 幹事 倉石 昌治 会報委員長 桜井 隆宏

例会報告(平成29年10月26日) 会長挨拶

点 鐘 会 長 前川成吉
ソング 「それでこそロータリー」
唱 和 「四つのテスト」
会長挨拶 会 長 前川成吉
幹事報告 幹 事 倉石昌治
プログラム

本日のお客様

第2790地区米山記念奨学委員会委員

佐藤廣子様(大網RC)

米山記念奨学生 ブッダトウキさん

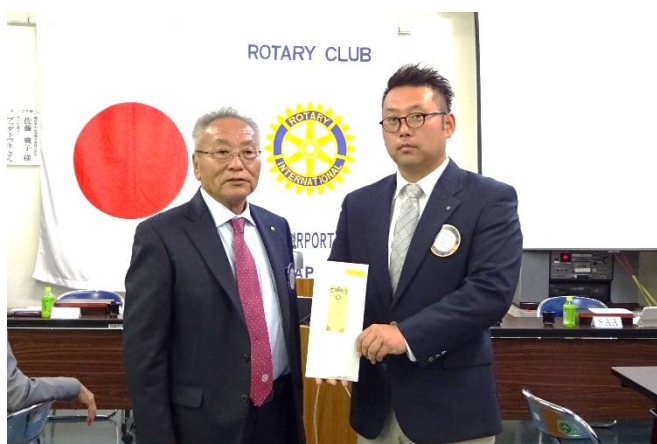
各委員会報告

卓話(奨学生 ブッダトウキさん)



皆さんこんにちは。季節外れといたしますがちょっと遅い先日の台風では日本全国、土砂災害、風災、川の氾濫などで亡くなられた方も多数、家屋損壊した方など大きな被害をもたらしましたが、この地区、地域ではあまり大きな被害はなかったなど不幸中の幸いというか少し安心しているところでございます。さて、本日はご来訪者がお見えになっております。地区米山記念奨学委員会委員の佐藤廣子様、米山記念奨学生のブッダトウキさん、本日はようこそ、お越し頂きましてありがとうございます。後程、佐藤様には御一言、ブッダトウキさんには卓話をお願いしてありますのでどうぞよろしく願い致します。

誕生祝



前川会長 / 杉森会員 (8/6)

幹事報告

①例会のお知らせ

- ・茂原東RC
- ・茂原中央RC
- ・大網RC

②会報受領クラブ

- ・旭RC



- ・小見川RC
- ③ガバナー事務所より
 - ・奉仕プロジェクト委員会セミナー報告書
 - ・日台ロータリー親善会議のご案内
 - ・10月のロータリーレートは 1ドル=112円
- ④その他
 - ・10月の第一例会よりネクタイ着用
 - ・例会終了後、プログラム委員会を開催致します。

委員会報告

◇R情報研修会出席報告



秋葉 英昭 会員

10/17（火）茂原市役所にて行われました第6分区主催・ロータリー研修会の出席報告がありました。

米山記念奨学生卓話



ブダトウキマガルコピラさん

自己紹介

皆さんおはようございます。本日、卓話をするため皆さんの貴重なお時間を下さりありがとうございます。

私の名前はブダトウキマガルコピラです。名前はちょっと長いですが、コピラと呼んで下さい。コピラの意味は日本語では蕾です。出身はネパールです。家族は4人います。両親、私と妹です。私の地元はネパールの南の方インド国境から近いチトワン

と言う町です。ネパールというと皆さん標高が高いイメージがあると思いますが、私の地元の標高は415mです。私の地元には国立公園があり、毎年多くの観光客が訪れます。そこにはいろいろな野生の動物、鳥を見ることができます。象に乗ってジャングルサファリができるのは一番いいと思います。それと毎年象のビューティコンテストがあり、地元の人々にとっては一番楽しいイベントでもあります。ネパールは多民族・多言語国家であり、民族とカーストが複雑に関係し合っている。ネパール人にとって、カーストはとても大事なものであります。理由はカーストより使われている言語、生活習慣、食べ物、服装全部違います。また、宗教もヒンドゥー教（元国教）、仏教、イスラム教等とその習合が混在する。公用語はネパール語。ネパール語47.8%、その他は民族ごとに使う言語があります。宗教はヒンドゥー教徒80.6%、仏教徒10.7%その他イスラム教、キラント教があります。

識字率

15歳以上で読み書きできる人の割合は48.6%。

- ・うち男性 62.7%
- ・うち女性 34.9%（2001年国勢調査）

これを見ると男性に比べて女性の識字率はとても低いです。

日本との出会い

中学生のとき授業で広島と長崎について勉強し日本はどんな国か知ることができ、いつか日本に行きたいという気持ちが生まれました。その後高校を出て国内でも一人旅をしたことがなかった私は、日本へ二週間一人旅に来て日本をもっと近くで知ることができました。旅行で感じた日本の安全さ、日本人のオモテナシでまた日本へ行きたいと思い、2012年には日本へ留学生としてきて、もう6年目になりました。2年間日本語学校で日本語を学んで、今は明海大学外国語学部英米学科4年で勉強しています。大学を卒業してさらに大学院に行きアジアの貧困や女性教育問題について研究したいと思っています。

ロータリアンと交流で楽しみにしていること

私は人に自分から話をかけたり、大勢の人々の前で話しをするのも苦手です。自分がロータリアンの奨学金生になり、自分の国やいろいろな国からのいろいろな大学からの友たちができ自分とまた違う考え

方、文化を学ぶことができます。毎月ロータリアンと例会に参加できいろいろな人と話ができます。自分のコミュニケーション力が上がっていると思います。学生生活ではなかなか体験できないことをいろいろ学べていると思います。この前東京湾 SYMPHONY のお食事会や SANU 先生とネパール料理の店でのお食事会はとても楽しかったです。ありがとうございます。

日本にいる間に学業以外で学んでおきたい事

自分の母国と言語、生活習慣、食べ物、宗教も違う日本に慣れるまでは時間がかかりましたが今第二の故郷となっています。日本にいる間に大学の勉強以外に日本の文化、マナー、日本人の考え方、生活習慣を学びたいと思います。日本人は時間と約束にはうるさいといわれていますが、私たちネパール人は何よりも日本人から約束と時間の大切さを学ぶべきだと思います。ネパール人は9時に集まりといってもほしい30分、1時間を送って集まる週間があるんですが日本人が9時に集合といったらほしい5分、10分前に集まる習慣は日本人のよいところだと思います。自分より相手のことを気にし、他人に迷惑をかけないように行動をする日本人を見ると感動します。バス、電車を待つときの行列、バスや電車内の静かさ、接客の仕事をするスタッフたちを見るとロバートのように感じます。日本で生活して一番驚いたことは電車内で寝ている日本人が自分の降りる目的地に来ると自動的に目が覚め下りていきます。このことはいまだに不思議に思っています。日本にしかないものは日本人のオモテナシだと思います。私も日本のこのようなすばらしさをいつか母国に持ち帰りたいと思います。私は大学3年生からいけばなサクルに入っていて、日本の生け花文化をすごく楽しんでます。自分で学んだいけばなの知識は花が好き母に教えてあげたいです。

将来の自分の専門分野で

もちろんネパールは日本と比べ物にはなりません。日本に留学して、この5年間一番日本とネパールの大きな違いを感じたのは教育システムであります。ネパールの職字率は人口全体の半分にもいかならないのは現実であります。ネパールの職字率を低く下げる大きな原因としては大きい三つを紹介したいと思います。この原因は決まっている原因ではなく私は（個人）

が感じた原因です。

1. ネパール人の貧しい考え方：ネパールではいまだに男女差別的な教育システムがあります。同じ家庭で生まれていても息子には学校に行かし、娘には家事をさせています。女の子はいつか他人の家に行くものなので、女の子に教育をさせることはお金を無駄にすることだと考える人々もたくさんいます
2. しっかりとした義務教育がないこと：ネパールには中学校間での義務教育があるものの学校に行かない子供たちもたくさんいます。その理由は学校に自分の子供たちを行かせなくても罰がないことです。
3. 経済的な面：アジアでももっとも貧困国であるネパールでは山道も多く、橋がない川だとまだ小さい子供は学校に行くのは危険。または朝、晩食べるものがないのに教育には手が届きません。私は大学院ではこのような母国の問題をめぐり研究しこのような問題の解決方法を身につけ、教育の大切さをみんなに知ってもらいたいです。教育を通じて平和で無差別な社会を作れる人間になりたいと思います。それとネパールと日本の友好と平和のために役に立てたいです。

将来の国際交流についての考え方

将来自分が留学生として日本で体験したことやロータリアンの奨学生になり学んだことをネパールや日本だけではなくいろいろな国に生かしたいです。将来教育を通じて国際協力（JICA, NGO, NPO）の一人になり国際的に役に立てる人間になりたいです。

ロータリアン、世話クラブやカウンセラーとの奨学期間後の関わり方、将来像

ロータリアン奨学生になったことはすごく誇りに思っています。大学の決まっている授業を受け試験に向かい勉強することと違うことをロータリアンの奨学生に学ぶことができました。自分が奨学金生になった後自分のカウンセラーは誰かなとすごく緊張していました。あとで宇田川先生だと知り、先生と話したら安心しました。自分の親のように感じ、今は自分の進路の相談、勉強のこといろいろなことに相談に乗ってもらっています。ありがとうございます。私は今年の4月から来年の3月まで一年間奨学金生になりますが、この一年間すごく楽しく、良い思い出になるように頑張りたいと思います。それと

ここで学んだこと、体験したことを生かしてロータリアンたちのいい心、ロータリアンの活動をみんなに知らせたいと思います。奨学金期間後もできればロータリアンが開催するいろいろなイベントに参加したり、お正月にはがきを贈ったりしずっと世話クラブやカウンセラーと関係を持ちたいです。将来自分も母国にあるロータリークラブの一人になり今の自分みたいな学生たちの役に立ちたいと思います。

ロータリアンへ感謝の気持ち

私はロータリアンの皆さん、世話クラブの皆さんやカウンセラーには頭が下げます。胸は感謝の気持ちでいっぱいです。私は大学3年生になり進学か就職で悩んでいました。進学を決めると親の負担を減らない、妹も日本へ留学したいと思っているのに二人も留学させるのは親には大変なことでありました。でも奨学生になり経済的なサポートをもらい自分が大学院に行くことを決め、妹も日本へ留学することをできました。私はロータリーからは経済的な面だけのサポートではなく一人の人間としてのマナー、礼儀を学び自分のコミュニケーション力も上がることができたと思います。誰かの役に立ちたいと考えているロータリアンたちには感謝します。私みたいに母国から離れている留学生に自分の子みたいに支えてくれてありがとうございます。ロータリアンのこの活動をすばらしく思いずっとつづけて欲しいと思います。

ご清聴ありがとうございます



付き添い / 地区米山記念奨学委員会
佐藤 廣子様 (大網RC)

ニコニコボックス

川島宥君

…誕生祝いありがとうございます

10/22 で 89 歳になりました

青柳誠君・土屋俊夫君・前川成吉君・伊藤元雄君

…米山記念奨学生ブダトウキさん卓話ありが

とうございました

石田喜一君

…葬儀でお世話になりました

内田裕雄君

…誕生祝いありがとうございます

杉森幹男君

…欠席が多くて申し訳ございません

誕生祝いありがとうございます

小川佐内君

…奥様誕生祝いありがとうございます

本日計	18,000 円
累計	211,004 円

出席報告

例会日	会員数	出席	出席率に用いる数	%
10月26	34	23	33	69.70

☆ 欠席をしたらマークアップをしましょう ☆

王さんが敬愛大学ホームページで紹介されました。

<http://juken.u-keiai.ac.jp/keiaijin/>

・敬愛大学の先輩たち



2017. 10. 18

将来、学生たちに日本の「いま」を伝えたいと思います

国際学部 国際学科 3年 王 堯玉

(おう ぎょうぎょく) さん

ヒューマンアカデミー日本語学校東京校 出身

※2017年度にインタビューを行っています。

王さんは、優秀な留学生に贈られる「ロータリー米山奨学生」に選ばれていますね？

昨年10月から2月にかけて選考が行われ、幸いなことに3・4年次の2年間、ロータリークラブが運営する「ロータリー米山奨学会」から奨学金を受けることができました。合格者の大半は大学院生ですが、推薦書を書いていただき、年末年始も面接練習をしていただいたりしたおかげで、合格することができました。日頃ご指導いただいている教職員の皆さんのおかげです。



先日ロータリークラブ会員の前でスピーチもしたそうですね？

私は普段、成

田空港南ロータリークラブの皆様にご指導をいただいています。先日隣接する八日市場ロータリークラブ例会に招かれ、20名以上の会員の皆様の前で、

自分の生き立ちや学習の状況、大学やロータリークラブの活動を通じて経験できたことなどを発表する機会をいただきました。会場には大学の先生方や成田空港南クラブの方も来てくださったのですが、初めて会う方々が多い会場でのスピーチに緊張してしまい、早口になってしまったことが悔やまれます。



大学生活についても発表したのですか？

例えば「日本文化論」「日本理解」の授業を受けて初めて触れ

た日本の伝統文化について、お話ししました。日本茶道の歴史や日本と中国の庭園の違い、「花札」の図柄から読み取れる自然への尊敬の念などを学んだだけでなく、歌舞伎鑑賞教室に参加して体感した日本文化の素晴らしさをなどについてもお話ししました。また大学で紹介していただいた稲毛の街のイベントにおけるボランティア活動や8月の「宮城ボランティア」に参加して感じたことについても触れました。奨学金を受けることができたことで、学業はもとより授業以外の活動にも積極的に参加する時間がとれるようになりました。

王さんは将来、どのような進路を考えていますか？

大学の教員になって知識と体験をもっと多くの人々に伝え、学生の人生を導く存在になりたいです。この目標が叶うまでまだ何年、何十年もかかるかもしれませんが、実現するまで諦めず頑張りたいです。まずは敬愛大学卒業後に大学院に進学し、日本文化、日本語について研究したいと思います。中国には「万里の道を行き、万卷の書を読む」という言葉があります。「一万冊の本を読んで博識になり、一万里の道を旅して体験を積む」という意味で、座学と共に広い世界に飛び出して様々な経験を積むことの大切さを説いた言葉です。私も日本で多くの場所を訪れ、その風俗と文化を肌で感じ、将来学生たちに日本の「いま」を伝えたいと思います。一生懸命勉学に励みますので、先生方もご指導よろしくお願いたします。